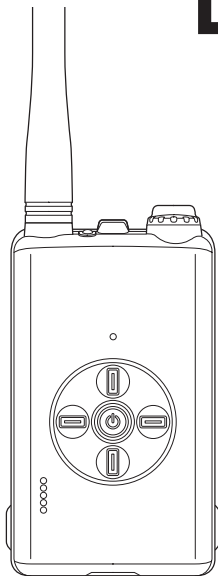
ALINCO

デジタル簡易無線機（総務省技術基準適合品）
AMBE 方式 / Bluetooth Module XE1126 内蔵
無線局種別コード：3R（登録局）

DJ-DPX2

取扱説明書

本製品を正しくお使いいただくためにはオプションの Bluetooth 対応または 1 軸 4 極ねじ込み式イヤホンマイク、スピーカーマイク、ヘッドセットが必要です。
対応するマイク類とその条件は本書 P. 60 に記載されています。

＜注意＞
- 本製品をご利用になるためには、無線局の登録申請及び開設申請をする必要があります。同梱の申請書類をご参照ください。
  登録申請手続きをしないで運用されますと不法無線局開設により罰則を受けます。
  必ず登録状が手元に届いたのを確認してからご使用ください。
- 音声圧縮（符号化）方式 AMBE+2™ 以外の無線機とは通話できません。

アルインコデジタルトランシーバーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させるために、この取扱説明書を最後までお読みいただくようお願いいたします。アフターサービスなどについても記載していますので、この取扱説明書は必ず保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。

本機は日本国内専用モデルです。海外では使用できません。
This product is intended for use only in Japan.

アルインコ株式会社

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表　示	表示の意味
⚠ 危 険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警 告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注 意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害だけの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
⚠	△記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容が描かれています。
⃠	○記号は、行為の禁止であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
●	●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は AC アダプターをコンセントから抜く）が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、もしくは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

免責事項について

下記について、法令上の賠償責任が認められた場合を除き、弊社は一切責を負いません。

●天災、人災、弊社の責任以外の火災、製品使用者の違法、故意、過失、取扱説明書の記載を守らない事を含む誤用、その他異常な条件下での使用により生じた事故と損害

●本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて生じる付随的な損害、不利益（通信できなかったことで生じた損失や事業の中断など）

●本製品の保証点検・修理を受ける際に発生する取り外し、取り付け費用

●弊社が関与していない接続機器やソフトウエアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害

●故障や修理のために喪失した個別の設定内容やチャンネルのデータ、表面に施された装飾やカスタマイズ用に使われた部品（ラベル類、圧着端子、ブラケット、ゴム足…）

⚠警告

■使用環境・条件

この製品を使用できるのは、日本国内の陸上と周辺海域だけです。上空、国外では使用できません。

電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院、介護・医療施設では絶対に使用しないでください（電源も入れないでください）。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤動作する原因となります。

この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元及び販売元はその責任を負うものではありません。

この製品同士、または他の無線機と共に至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元及び販売元はその責任を負うものではありません。

指定以外のオプション品や他社のアクセサリー製品を接続しないでください。故障の原因となります。特にアンテナは指定のもの以外を使用すると電波法に違反します。

本機の故障、電波環境や使用場所の状況などから通信できなかったことで発生した、逸失利益に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

機種名、数字や記号が書かれたラベル類は、絶対に剥がしたり、他のシールなどで隠したり、貼り替えたりしないでください。技術適合の基準から外れ、違法無線機とみなされることがあります。

無線局の登録状の有効期限は 5 年です。登録状に不備がある場合や登録状を取得しない運用はしないでください。不法無線局となり、1 年以下の懲役または 100 万円以下の罰金を課せられることになります。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。

トランシーバーは調整済みです。このトランシーバーをユーザーが改造、仕様変更することは法律で禁止されています。

直射日光があたる場所、車のヒーターの吹き出し口、調理台、ストーブなど高熱源の近くや温度が高くなる場所には絶対に放置しないでください。ケースや部品が変形・変色、発熱したり、火災の原因となることがあります。電池やマイクなどのアクセサリーも同様です。特にリチウムバッテリーパックは 80℃を超えると発火の危険があります。

故意に水をかけたり、流水で洗ったり、マイクを外したままで使用したりしないでください。感電・故障の原因となります。外郭保護には条件があります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

本製品はガス及び発破現場の近くでは使わないでください。防爆仕様ではありません。静電気が発生して引火、爆発の危険性があります。

■充電器の取り扱いについて

AC アダプターは AC100V 以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器の AC プラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。

ぬれた手で充電器の AC アダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

充電器の AC アダプターを、AC コンセントに確実に差し込んでください。AC アダプターの刃に金具などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

充電器や AC アダプターの刃に、ホコリが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。トラッキング現象による火災を防ぐため、コンセント周りは定期的に清掃してください。

■異常時の処置について

以下の場合は、すぐ本体の電源を切って、バッテリーを取外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご連絡ください。お客様による修理は法令により禁止されていますので、絶対におやめください。

■ 異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
■ 落としたり、ケースを破損したりしたとき
■ 内部に水や異物が入ったとき
■ AC アダプターのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

屋外での使用時に雷が鳴り出したら、急いで安全な場所に避難してください。充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いて、雷が止むまでお待ちください。なお、本製品は雷に対する保護や保証はいたしておりません。

■保守・点検

本体や充電器のケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。本機に内蔵されている Bluetooth　Module(XE1126) の分解、改造をすることは法律で禁止されています。

⚠注意

■使用環境・条件

テレビやラジオ、パソコンなどの電子機器の近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

湿度の高い場所、ホコリの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして故障やけがの原因となることがあります。

CH15 は通話チャンネルではありません。呼び出し専用です。
CH15 での話し方の例：
・「○ X さん、聞こえますか？」「はい」「CH20 に移ってください。」「了解です。」
・「呼び出しです、○ X さん、事務所にきてください」「了解です。」

■トランシーバー本体の取り扱いについて

アンテナを誤って目にささないよう注意してください。

イヤホン / マイクロホン端子には指定のオプション以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源を切り、バッテリーを取外し、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

アンテナを持って本体を持ち運んだり、振り回したり、投げたりしないでください。けがや故障、破損の原因になります。

ベルトクリップは体の横または背中に装着して、イヤホンマイクのケーブルも余分な長さを束ねて固定してください。かがんだときにマイクプラグやアンテナにストレスが掛かったり、ケーブル類を引っ掛けたりすると故障の原因となります。

スピーカーやマイク穴をステッカーやラベルなどでふさがないでください。音を拾わなくなり、内蔵スピーカーが故障する原因となります。

スピーカーやマイク穴の防水クロスをはがしたり、別のシールをはらないでください。浸水や音質不良など故障の原因になります。

■充電器の取り扱いについて

充電器の AC アダプターを抜くときは、コードを引張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ず AC アダプターを持って抜いてください。

熱器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■保守・点検

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を切り、バッテリーを取外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。
ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質するおそれがあります。美観上以外にトランシーバーを長く正常にお使いいただくために定期的な清掃は大変有効です。

■廃棄

廃局届を管轄の総合通信局に提出してください。
手続きや書類は総合通信局のホームページをご覧ください。
手続きをしないと電波利用料が請求される、譲渡した人の登録手続きができないなどのトラブルの原因となります。廃棄方法はラジオなどの小型家電と同じです。
バッテリーパックはリサイクル資源です。再利用しますので、廃棄しないでバッテリーパック回収協力店へご持参ください。

■運転中の無線機の使用について

運転中に携帯型無線機を手に持って操作しないでください。このような行為は運転中の携帯電話使用と同様に罰せられます。無線機の運用は必ず安全な場所に停車してから行ってください。ただし、スピーカーマイクでの通話は認められています。

外部に音が聞こえないような状態にして運転しないでください。外部アンプや、大型スピーカーをつないで周りの音が聞こえないような大音量で受信したり、耳を完全に覆うタイプのヘッドホンを使ったりすると罰せられることがあります。一部の地方自治体では運転中にイヤホン・ヘッドホン類を使用すること自体を規制していますので、ご不明な点は最寄りの警察署などにお尋ねください。

無線機をベルトクリップなどで体に装着して運転しないでください。アンテナや付属品が引っ掛かり、運転の支障となることがあります。そちらに注意を引かれると前方不注意の原因となります。

■外郭保護性能について

本機は設計段階で外郭保護等級 IP65,66,67 規格の耐塵防浸試験に合格しており、適合するアクセサリーを使ってアンテナ、電池パックなどを正しく装着するなど指定の条件を満たしていれば、水周りやホコリっぽい環境の中でお使いになっても故障しにくい構造になっています。ただし防塵、防水試験には条件があり、完全な防水を保証するものではありません。流水で洗う、水没させるなどは故障の原因になります。金属性、油性、酸や塩分・化学物質を含むなど、特殊な粉塵や液体が製品に使われている素材や部品に付着すると腐食、劣化や故障の原因になりますが、保証の対象外となります。また、外郭保護性能の有無にかかわらず無線機は汚れたり濡れたりしたときはすぐに汚れを落としてから乾いた布で拭くなどのメンテナンスを心がけていただくと長く正常な状態でお使いになれます。
保護に使われているカバーやシールドの素材は経年劣化のため変質し、保護性能が低下します。弊社の外郭保護性能保証は製品の保証期間と同じとさせていただきます。保護が重要な場合は有償でメンテナンスを承ります。販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。なお、耐塵、防浸などの言葉が直感的に分かりにくいことから、カタログや説明書の文中では「防塵」「防水」などの言葉で表現する場合があります。
耐久性能は米軍規格 MIL-810 の振動と衝撃規格で確認済です。衝撃は落下ではなく、急ブレーキや急発進時にかかる G(重力加速度) を想定した規格です。

■Bluetooth® について

本機に内蔵している Bluetooth Module(XE1126) は総務省技術基準適合品です。分解、改造することは、法律でかたく禁じられています。

電子レンジの近くで使うと電磁波の影響で通話できなくなることがあります。妨害を受けたときは電子レンジから離れてください。

■Bluetooth 機能による電波干渉について

本機の Bluetooth 機能を使用するときは、以下の内容についてご注意ください。

Bluetooth に使用される 2.4GHz 帯では、電子レンジなどの産業、科学、医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局が運用されています。

- 本機の Bluetooth 機能を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、2.4GHz 帯のアマチュア無線局などが運用されていないことをご確認ください。
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、Bluetooth 機能をオフしてください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターにご相談ください。

■本機の Bluetooth 機能の制限について

本機が Bluetooth 接続時、下記の運用はできません。

- デュアルオペレーション
- 接客機能の「タッチ」モード
- コールバック

■2.4GHz 現品表示記号の意味について

「2.4」　：2.4GHz 帯を使用する無線設備
「FH」　：FHSS 方式
「1」　：想定干渉距離が 10 m以下
「---」　：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局の帯域を回避不可

2.4FH1

Bluetooth の登録商標 / 著作権について

◆◆◆ 使用前のご注意 ◆◆◆

■電波法上のご注意

- 本機はデジタル簡易無線登録局です。使用するにはあらかじめ、登録申請や開設届の提出が必要になります。
- 他局の通信を妨害したり、傍受した内容を他に漏らしたり、傍受した内容を窃用することは法律で固く禁じられており、違反すると罰せられます。
- 本機は日本国の河川湖沼を含む陸上、領海と接続水域、及び排他的経済水域内でお使いになれます。上空、海外での使用は違法で罰せられます。
- 届け出た住所やお客様のお名前が変わったり、廃局したり、他人への貸し出しをするときも届け出が必要です。詳しくは管轄の総合通信局におたずねください。

■航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、病院や医療介護施設、無線中継所など無線機器の使用が制限されている場所で使うと罰せられます。

■本機を複数台でご使用いただく場合、至近距離（10m 程度が目安) で同時に通信しないでください。異なるチャンネル同士であっても、強い電波が影響し合って通話ができなくなることがあります。

■本機を分解、改造したり、本体背面に貼り付けてある証明ラベルを剥がして使用することは法律で固く禁じられています。

■高温、多湿、直射日光の当たるところ、ホコリの多い場所は避けてお使いください。

■通信のできる距離は周囲の状況によって大きく異なります。本機に採用されている電波は直進性が高く、間に構造物や地形などの障害物があると通信できる距離が短くなります。

■販売店で事前にプログラミングされている場合、本書に書かれた機能の一部は制限されていることがあります。詳しくは、プログラミングした販売店にお問い合わせください。

■本体背面及び上面に貼られている黒いシールは剥がさないでください。防水性能を維持できなくなります。

■本機の秘話機能は第三者に通信内容が聞かれる可能性を低くするものであり、無線の性質上、通信の秘匿性能を保証するものではありません。

■本機は米国DVSI社の開発したAMBE(Advanced Multi-Band Excitation)方式による音声圧縮技術を採用しAMBE+2™を使用した他のデジタル簡易無線(種別コード:3R)との互換性を確保していますが、AMBE+2™以外の音声圧縮技術(RALCWI方式など)を使用したデジタルトランシーバーとの互換性はありません。

The AMBE+2™ voice compression software included in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. The user of this software is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the object code, or in any other way convert the object code into a human-readable form.
US Patent Nos.: #8,595,002, #8,359,197, #8,200,497, and #6,912,495.

■ Important
This product is permitted to use for business, leisure and hobby communications within Japanese territory and territorial-water only. Aviation use is strictly prohibited. A radio operator license is NOT required but a registration to authority is mandatory prior to use. Registration instruction is included. A Radio-user fee will be charged annualy by a government agency. In case you change registered contact information such as address and name, you should report it to the authority. For any registration-related information, please contact your dealer or a regional Bureau of Telecommunications of the Ministry of General Affairs of Japan. Misuse violates the Radio Law of Japan and shall be subject to fine and/or punishment.

■改正電波法準拠で 2022 年 12 月 1 日以降も使えるデジタル方式（DCR-Digital Convenience Radio）トランシーバーです。

■総務省技術基準適合品の Bluetooth Module (XE1126) を内蔵しています。本機の Bluetooth 機能は弊社製 Bluetooth アクセサリーにのみ対応します。

■業務でも、レジャーでも、目的を選ばず使えます。

■パワフルな 5W 出力により、より広い通話エリアを確保できます。

■キーロック、子機間通話禁止、バッテリーセーブ、VOX、オートパワーオフ、各種ビープ音やマイク感度の設定などの便利な機能はもれなく採用しました。

■ホコリが多い環境や水回りの仕事に強い IP65/66/67 相当の耐塵防水仕様です。

■標準規格の 32,767 通りに加えて弊社独自の秘話キー 491,505 通りを使うことで、高いセキュリティの秘話通話ができます。

■あらかじめユーザーコードや秘話などの機能をランダムなチャンネルに設定したプリセットチャンネルを 30 個登録済み。好みの設定を選ぶだけですぐに通話できます。

■ACSH（Auto Connect Shake Hands)、エアクローン、パソコン編集機能の 3 つで、お使いの無線機の設定に合わせることも簡単にできます。

■マイクや声で受信音量を小さくできる特許済の「接客モード」を採用しました。

■日本語で全ての設定や状態をお知らせする日本語の音声ガイダンス機能を採用しました。

1 お使いになる前に

付属品の確認

本製品には以下のものが付属しています。ご使用前に確認してください。

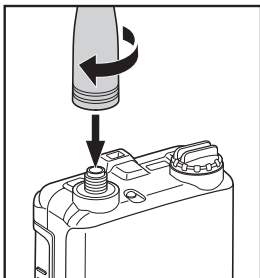
□本体
□バッテリーパック　EBP-98(7.2V 2200mAh)
□シングル充電スタンド　EDC-214R
□ AC アダプター　EDC-215
□ベルトクリップ（ネジ 2 本付）EBC-46
□ミドルアンテナ　EA-247
□取扱説明書（本書）
□補足シート
□申請書類一式
□保証書

> **注意** 保証書は購入店名、購入日の記入（または専用ステッカー貼付けなど）と、記載の製造番号をお確かめの上、本書と一緒に大切に保管してください。
> 記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類を一緒に保存してください。
> 購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。

弊社純正、または弊社が認めたアクセサリー以外をご使用になって起きた不具合は保証期間の有無を問わず有償修理になります。他の無線機メーカー製オプション品はお使いにならないでください。故障の原因になります。アクセサリー専業メーカーの製品であれば、そのメーカーにお問い合わせください。
他社製アクセサリーに起因する不具合は、弊社で修理や改造で対応することはできません。

付属品の取付け方

■アンテナの取付け方

アンテナの根元を持って時計方向（右）に回転が止まるまで回します。
外すときは反時計方向（左）に回します。

参考

■外部アンテナの接続
市販のデジタル簡易無線機用アンテナを接続することができます。
アンテナコネクターは SMA 型です。接続ケーブルや取付け金具を含めたアンテナのご購入は、無線機販売店にご相談ください。
標準付属品のホイップアンテナのスペアも販売店でお求めになれます。
使用可能なアンテナ型式については弊社ホームページで確認できます。

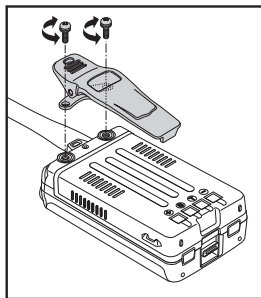
注意

・市販されているアンテナ端子変換用コネクターには、この製品に適合しない形状のものがあります。変換コネクターが正しく接触しているか確認してからお使いください。
・他社の無線機の付属品や最大出力が異なる無線機に付属するホイップアンテナを使うと、接触不良や耐入力の違いから発熱、送受信不良、故障の原因となる場合があります。

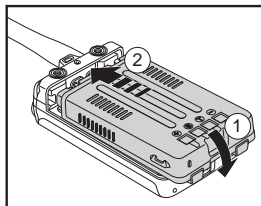
■ベルトクリップについて

ベルトクリップは取付けた状態で梱包されています。ベルトクリップを外すときはドライバーでネジを反時計方向に回します。
(+ ドライバー No2 が必要です)

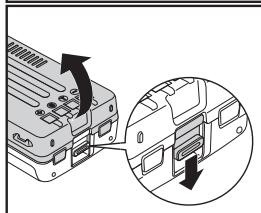
注意 定期的に、ネジにゆるみがないか点検してください。ベルトクリップは消耗品です。スペア部品として販売していますので、お買い求めの際は販売店にご相談ください。標準付属品以外のネジを使うと無線機本体が破損します。絶対に規格以外のネジは使わないでください。(ネジ規格：M3 × 6mm)

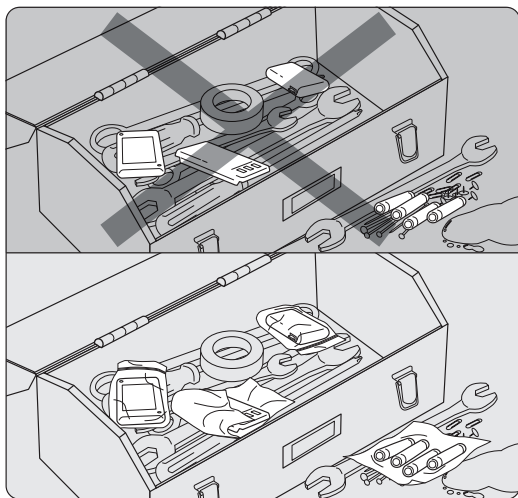
ベルトクリップ EBC-46
（ベルトクリップ 1 個、ネジ 2 本）

■バッテリーパックの取付け / 取外し

●バッテリーパックの取付け方

バッテリーパックを本体のツメに合わせ、バッテリーパックを矢印の方向に押し込んでしっかりと固定します。
ロックレバーが固定されているか確認します。

●バッテリーパックの取外し方

本体のロックレバーを押してバッテリーパックをスライドさせて取外します。

注意 ・スライドさせる際は、指やツメなどを傷めないように注意してください。

■電池類の持ち運びについて

乾電池やバッテリーパックを持ち運ぶときは、以下のことにご注意ください。端子をショートさせせると大電流が流れて火災、火傷の原因になります。
1.5V の単三乾電池ですら数分程度で、90℃以上の温度になるので十分な注意が必要です。

- 金属製のもの（ネックレス、ブレスレット、キー…）が入ったバッグや金属製のケース（工具箱…）などに直接入れないでください。
- 雨や雪、波しぶきなどが直接かかるような状態では持ち運ばないでください。真水や塩水は電気を通します。
- 電池を持ち運んだり保管する場合は、必ず 1 個ずつビニール袋にいれたり布で包むなどしてショートしないようにしてください。
- 長期間使用しない場合は電池を無線機から外して、直射日光が当たらない、できるだけ湿度の低い冷暗所で同様の配慮をしたうえで保管してください。補充電については別途充電器の項目でご説明しています。
- 廃棄のため電池類を保管する場合は必ず端子部分にセロテープを貼るなどしてショートしないようにしてください。

■バッテリーパックの使用上の注意

次の注意事項を守らないと、発煙や発火の原因となります。

- 指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、直ちに充電を中止してください。
  充電をつづけると、発煙や発火を起こす危険性があります。
- 購入時に比べ運用時間が極端に短くなったとき、バッテリーパックは寿命です。
  ご使用をつづけると、発煙や発火の原因となります。
  (無線機の性能を十分に活用するためにも、長くても 5 年以内の交換をおすすめします。)
- 無線機本体の電源を入れた状態で、指定時間以上充電をしないでください。繰り返し行うことにより、発煙や発火の原因となります。

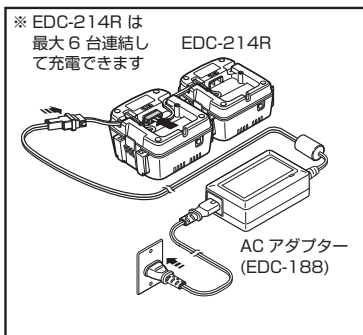
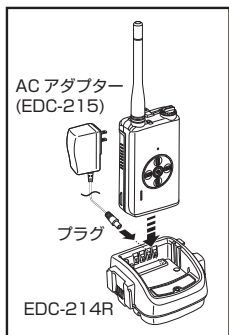
注意

- バッテリーパックは出荷時には十分に充電されておりません。お買い上げ後にフル充電してからご使用ください。
- 充電は 0℃～ +45℃の温度範囲内で行ってください。
- バッテリーパックの改造、分解、火中・水中への投入は絶対にしないでください。発熱・破裂などの可能性もあり、大変危険です。
- バッテリーパックの端子は絶対にショートさせないでください。機器の損傷や、バッテリーの発熱による火傷の原因となることがあります。
- 必要以上の長時間の充電 (過充電) はバッテリーの性能を低下させますのでおやめください。
- バッテリーパックの保存は、-10℃～ +45℃の温度範囲で湿度が低く乾燥した場所を選んでください。それ以外の温度や極端に湿度の高い所では、バッテリーの液漏れや、金属部分のサビの原因になりますので避けてください。
- バッテリーパックは消耗品です。規定の時間充電しても使用時間が著しく短い場合は寿命がつきたものと思われます。新しいものにお取り替えください。
- バッテリーパックはリサイクル資源です。再利用しますので、廃棄しないでバッテリーパック回収協力店へご持参ください。

■リチウムイオンバッテリーパックの充電方法

充電スタンドと AC アダプターを接続してリチウムイオン充電池パックを充電します。

注意

- リチウムイオン充電池パックをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは、フル充電してからお使いください。専用充電スタンドでしか充電できません。
- 充電するときは電源を切ってください。電源を入れたままでは正しく充電できず、電池劣化を早めることになります。

（AC アダプターの形状は実物とは異なる場合があります。）

■ リチウムイオンバッテリーパックの充電について

新しいバッテリーパックをお買い上げいただいたときや長い間使わなかったときは、満充電してからお使いください。付属の充電スタンドとACアダプターを図のように接続してください。本機専用のACアダプターと充電スタンド以外の使用は危険ですから絶対におやめください。

■ 充電方法

本機の電源を切った状態で、図のように充電スタンドに入れるとランプが赤色に点灯して充電が始まり、完了すると緑色になります。空のEBP-98 を満充電する目安は約 3 時間ですが、電池の残量、周囲の温度などにより大きく変わることがあります。充電スタンドのランプが赤色に点滅した場合は充電不良です。本機の電源が切れているか確認してください。室温を超える寒い場所や暑い場所では充電できません。バッテリーパックは無線機から外して単体でも充電できます。別売の EBP-99 大容量バッテリーパックも同様ですが、充電時間の目安は約４時間です。

満充電の状態（緑ランプ点灯）で充電スタンドに載せたまま長時間電源を入れていると、バッテリーパックは放電して赤ランプが点灯しますが、正しく再充電できません。一旦電源を切ってから充電してください。非常時の備蓄用などでバッテリーパックを装着した状態で保管しなればならないときは、週に一度は液漏れや電池切れが無いことを確かめてください。待機電流のため、電源を切っていても電池は徐々に放電します。完全放電状態が続くと充電できなくなります。リチウムイオンバッテリーの性質上、満充電・完全放電状態での保管や常時充電状態での使用は電池の劣化を著しく早めます。危機管理上など特殊な理由が無い限り、このような使い方はおやめください。バッテリーパックは消耗品で、製品保証の対象ではありません。

DJ-DPS50 をお使いの場合、既にお持ちの連結充電器 (EDC-196R と EDC-175) に EDC-214R を接続して本機の充電ができます。このとき、EDC-196R と EDC-214R は 4 台までしか接続できません。新しい AC アダプター (EDC-188) をお求めになれば、EDC-196R と EDC-214R は最多 6 台まで自由に組み合わせることができます。

※バッテリーパックに関する重要な説明です。このページは必ずお読みください。

- 長時間充電したままにしておくと、バッテリーパックを劣化させることがあります。
- 無線機を付けた状態でうまく充電できない場合は、電池単体で充電してみてください。
- バッテリー及び充電器の充電端子はときどき乾いた綿棒などで清掃してください。汚れていると接触不良の原因となります。（この際に充電端子を変形させないようにしてください。）
- 弊社のバッテリーパックは対応する弊社製品専用です。対応の純正充電器で充電できます。市販や他社製の充電器やアダプターなどで充電すると故障や事故の原因となるので絶対に充電しないでください。
- 充電中、必ず本機の電源スイッチを切ってください。本機の電源が入ったままで充電すると、充電器の赤ランプが点滅し充電できないことがあります。
- バッテリーパックを夏の車内や窓際など、高温となる場所には絶対に放置しないでください。火災の原因となるような高熱を発する性質があります。
- 長時間使わないときは、バッテリーパックが空に近いときだけ 1 時間程度継ぎ足し充電をしてから本体から外して保存してください。
  ※バッテリーパックを長期間使わずに保存しておくと、状態にもよりますが劣化して使えなくなることがあります。

リチウムイオンバッテリーを保存するには 50% 程度の充電状態が最適といわれています。最も劣化しやすいのは放電状態、次に満充電状態での保存です。
また、リチウム系充電池は使用・保存状態にかかわらず、数年で容量が大幅に抜けてしまう性質を持っています。5年程度を目安にバッテリーパックの交換をお勧めします。
5年を超えると Li-Ion 電池は発熱、発火のリスクが高くなります。

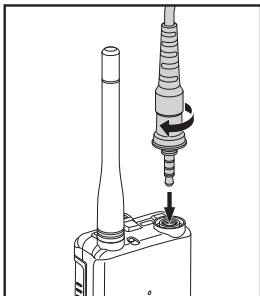
重要 ■ EBP-98、EBP-99（オプション）は無線機に正しく装着された場合だけ耐塵防水保護が機能します。故障に直結するのでバッテリーパックだけの状態では、絶対に水に濡らさないでください。

別売マイク類の取付け方

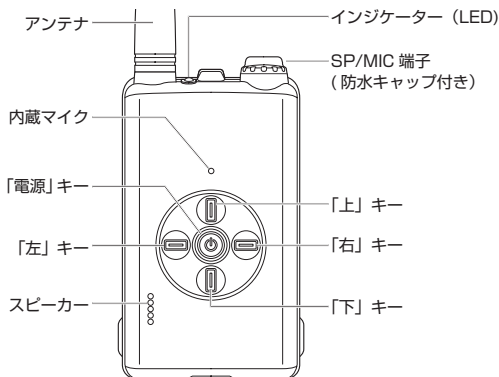
本製品はオプションのマイク類を使用することを前提に設計されています。防水キャップまたは弊社指定のマイクなどを装着していないと、防塵防水にはなりません。

【ご注意】
有線式マイクを使うときは Bluetooth 機能をオフにしてください。

■イヤホンマイク / スピーカーマイクの取付け方

突起部分にコインなどを当て、反時計方向に回して防水キャップを外します。外したキャップは必ず保存してください。
マイクのプラグを SP/MIC 端子の穴に差し込み、時計方向（右）に回転が止まるまでねじ込んでください。差し込むだけでは動作しません。
外すときは反時計方向（左）に回してください。

注意
- 工具などで無理に締め付けないでください。故障の原因となります。
- ゆるみがないか、ときどき確認してください。
- 弊社純正以外のオプション品を接続しての不具合は、製品保証の対象外となります。また弊社は一切の責任を負うものではありません。
- マイク類を取り外して保管するときは、ジャック穴に水分やホコリが入らないようナイロン袋に入れるなどして保護するか、付属の防水キャップ部品をお使いください。
- 長期間保管するときはマイク類を外して、防水キャップを閉めてください。

本体の名称と動作

■本体

名称	機　能
「上」キー	受信音量を上げます。セットモードの各項目の設定値を昇順に切り替えます。
「下」キー	受信音量を下げます。セットモードの各項目の設定値を降順に切り替えます。
「右」キー	チャンネル、プリセット CH、セットモードの各設定項目を昇順に切り替えます。
「左」キー	初期値ではチャンネル、プリセット CH を降順に切り替える CH ダウンです。セットモードの各設定項目を降順に切り替えます。（短縮キー動作に割り当てることができます。）
「電源」キー	長押しで電源のオン / オフです。 短押しで現在の状態を音声でお知らせします。

名称	機　能
インジケーター	緑色点灯：受信中 緑色点滅：エアクローンモード送信完了 緑色早い点滅：エアクローンモード受信中 赤色点灯：送信中、メインチャンネル送信中 赤色点滅：エアクローンモード送信中 青色点灯：受信待受状態 青色点滅：未聴録音データあり 青色 2 回点滅：Bluetooth 未接続状態 青色短い点滅：Bluetooth 接続状態 白色点滅：標準セットモード 白色点灯：詳細セットモード 紫色点灯：電源オン / オフ時 紫色点滅：エアクローンモード 黄色点灯：サブチャンネル送信中 黄色点滅：電池電圧低下 水色点灯：接客モード 水色点滅：デュアルオペレーションモード時 水色早い点滅：スキャン中 黄色・白色の交互点滅：ユーザーコード / 秘話コード変更中 青色・緑色の交互点滅：ACSH モード 赤色・黄色の交互点滅：各種エラー 赤色・緑色の交互点滅：ペアリング中

重要 ■キーの操作方法について

本書の説明でキーを「押します」、「短押し」とは、押した後すぐに放すことを意味します。長く押しすぎると違う動作をすることがあります。「約○秒間押す」「長く押す」「長押しする」とは機能が動作するまで押し続けることを指します。

■音声ガイダンスについて

本書では音声でガイダンスが流れることを「お知らせします」と省略している箇所があります。また、簡単な内容のガイダンスは「お知らせします」も省略して、本書に記載していないものがあります。

■チャンネルの書き方について

省略して「CH」と記載することがあります。

■内蔵スピーカーと「PTT」キーについて

本機は別売の外部マイク類の使用を基本としています。内蔵スピーカーは外部マイク類が無い時でも設定のガイド音声を聞こえるようにするためのものです。ガイド音声が聞けなくなるとリセットしない限り操作できなくなるため、外部マイク類を接続していないときのガイド音声は最大設定値で固定され、変更はできません。また本書の「PTT」キーとは基本的に外部マイクのものを指しています。セットモードで「左」キーに PTT が割り当てられますが、常用を目的としていません。内蔵スピーカーも「PTT」キーも外部マイクが故障した時の非常用とお考えください。常用されての不具合に関する保証はいたしかねます。

3 基本操作

■音声ガイダンス

本機はチャンネルや送信出力などの設定内容及び各状態を音声でお知らせします。お知らせ途中でも操作できるので、音声を終わりまで聞く必要はありません。

■電源を入れる

本体にバッテリーを取り付けて、インジケーターが紫色に点灯するまで「電源」キーを長押しすると、「チャンネル 1 、5W」のようなガイダンスが流れ、インジケーターが青色点灯に変わると、受信待受状態になります。また、電源を切るときも同じ操作をします。「電源をオフにします」とお知らせして、インジケーターが消灯します。

参考

- バッテリーパックの放電や電池を外すなどで電源が切れると、次回の起動時に「ただいま起動中です」から始まるガイダンスが流れます。
- 電源が入っているときに「電源」キーを押すと、チャンネル (プリセット CH) 番号と送信出力などをお知らせします。

■音量を調整する

注意

- 必ずマイク類アクセサリーを動作状態にして、あらかじめ音量レベルを下げておいてから調節を始めてください。大きな音量は耳を傷めることがあります。
- 音声ガイダンスの音量はこの操作では変わりません。標準セットモード「5. ガイダンス音量」で変更してください（P.49 参照）。
- Bluetooth 接続時は音声ガイダンスの音量は変更できません。設定値を変えても無効になります。

「上」キーを押すと受信音量が上がり、「下」キーを押すと受信音量が下がります。キーを押し続けると連続して受信音量が変わり、キーを放すと受信音量をお知らせします。「上」キーと「下」キーを同時に押すと後述するモニター動作 (P.31) になり、「ザー」というノイズが聞こえます。この音を音量の目安に使えます。同じ操作でモニター動作を解除します。

■受信する

信号を受信すると、インジケーターが緑色に点灯し、ユーザーコード、秘話コードなどの通話条件が合っているとき音声が聞こえます。

重要 下記のような、インバーター内蔵の電気製品はノイズが発生して、受信障害になることがあります。
*LED 照明　*IH 式調理器具　* ソーラー発電装置
*DC-AC インバーターなどの車載機器

■既に他のデジタル簡易無線登録局をお使いの場合

既存の無線機のチャンネルとユーザーコードに合わせて通話したいときは別紙の { すぐにつながる「ACSH(アクシュ)」機能 } からお読みください。機能の詳細は P.30 にも記載しています。

■チャンネルモード（初期状態）

従来の CH1 から CH30 の順で、一切の機能設定がされていないチャンネルを使います。電源を入れると「チャンネル」とチャンネル番号と送信出力などのガイダンスが流れ､インジケーターが紫色から青色に変わります｡「右」キーを押すと「チャンネル 1､2､3 ～」のように昇順､「左」キーを押すと「チャンネル 30、29、28 ～」のように降順にお知らせします。押し続けると連続で番号が変わり、キーを放すとチャンネル番号をお知らせします。好みのチャンネルに合わせてお使いください。

参考

・チャンネルとプリセットのモードで「左」/「右」のキーを押し続ける間、「プププ…」とチャンネルが変わるごとにビープ音が鳴ります。プリセットモードではプリセット 1、チャンネルモードでは CH1 と呼び出しの CH15 はそれぞれ別のビープ音が鳴ります。

注意 ・「11. 短縮キー動作」を初期値の CH ダウンから他の設定に変更すると、「左」キーでチャンネル（プリセット）の降順の操作はできなくなります。

■プリセットモード

面倒な設定なしですぐに通話できるモードです。あらかじめ別表 (P.63) のような設定をしたチャンネルを 50 個搭載していて、30 個は出荷時に書き込み済で、残りの 20 個はパソコン編集機能で追加できます。
プリセットモードの番号を合わせるだけでユーザーコードや秘話、VOX 機能を使った通話ができます。電源を切った状態で、「上」キーを押しながら「電源」キーを長押しして電源を入れます。「プリセット」とプリセットチャンネル番号と送信出力のガイダンスが流れ、インジケーターが紫色から青色に変わったらプリセットモードです。同じ操作でチャンネルモードに切り替わります。
「右」キーを押すと「プリセット 1、2、3 ～」のように昇順、「左」キーを押すと「プリセット 50、49、48 ～」のように降順にお知らせします。押し続けると連続でプリセット番号が変わり、キーを放すとプリセット番号をお知らせします。

■ プリセットモードの制限事項
プリセットモード時は、以下の操作が一部制限されたり、操作できなくなります。

- 標準セットモード「11. 短縮キー動作」で割り当てた機能の一部：
  プライベート CH、スキャンのオン・オフ、デュアルオペレーションのオン・オフ、ユーザーコードのオン・オフ、秘話コードのオン・オフ
- 詳細セットモードの「5.VOX 動作」、「6. ユーザーコード」、「7. 秘話コード」、「8. 秘話タイプ」の設定値の変更
- プリセットモードの登録内容は、手動操作では変更や消去はできません。弊社電子事業部 HP の「ダウンロード」リンクから無償配布する編集ソフトを使えば「プリセットチャンネルの設定」タブで自由に設定できます。

■ プリセットモードのリセットについて
P.32 で説明するリセット操作をすると、プリセットモードの設定は以下のように初期化されます。

- プリセットモードの登録内容はリセット後でも別表 (P.63)、又は編集ソフトの「プリセットチャンネルの設定」画面で設定された状態のままです。
- プリセットモードで使用中にセットモードで設定する機能や設定値は上記の制限を除いて反映されますが、プリセットチャンネルにメモリーされるのではなくチャンネルモードも含めた本機全体の設定になるので、リセット後は初期化されます。

■ プリセットモードの拡張 CH20 について
編集ソフトを使えばプリセットチャンネルを 50 個の間で増減できます。
単純なメモリーチャンネルでは無いので、仕様上の理由から手動では
拡張できなくなっています。

■送信する

「PTT」キーを押すと、インジケーターが赤色に点灯し送信状態になります。「PTT」キーを押したままマイクに向かって話します。マイクと口元は 5cm ほど離してください。「PTT」キーを離すと受信待受状態に戻ります。デジタルトランシーバーは送信を開始してから相手に音声が聞こえるまで若干の遅延があります。「PTT」キーを押したら一呼吸置いてからお話しください。

重要
- マイクに向かって話すとき、声が大き過ぎたり口に近すぎたりすると歪み、声が小さいと相手が聞き取れなくなります。マイクの位置や声の出し方で調整できないときは標準セットモードの「3. 外部マイク感度」をお試しください。Bluetooth マイクも感度調整できます。
- 本機は防水を施すため、内蔵マイクの手前に特殊な布製素材を装着しています。このため、標準セットモードの「11. 短縮キー動作」を PTT にし、内蔵マイクを使用したときと外部マイクなどのアクセサリーを使用したときで若干音質が変わって聞こえる場合がありますが、異常ではありません。
- マイク穴にステッカーやラベルを貼ったり、手や指でふさがないでください。声を拾わなくなります。

・・・・・・・・・ エアクローンモード ・・・・・・・・・

このモードは未設定のDJ-DPX2(クローン機)を、設定が済んだDJ-DPX2(マスター機)から無線で任意の台数を一度にクローンするモードです。複数の無線機を使うときに便利です。クローン機はどんな設定になっていても、全てマスター機の設定に書き換えられます。プリセットモードの内容もカスタマイズされていれば書き換えてしまいます。チャンネルを合わせるなど、事前の用意はありませんが、操作できなくなるのでキーロックは解除しておきます(P.31 参照)。また、この理由からキーロック設定はクローンできません。

①マスター機の電源を切った状態で、「右」キーと「下」キーを押したまま「電源」キーを長押しして、インジケーターが紫色に点灯したら指をはなします。「エアクローンモード」とお知らせし、インジケーターが紫色の点滅に変わります。
②クローン機も同じ操作でエアクローンモードにします。
③マスター機の「左」キーを押すと、インジケーターが赤色で点滅し、送信してエアクローンを始めます。送信が終わると、お知らせした後でインジケーターが緑色の点滅に変わります。送信中、「左」キーを押すと、インジケーターが紫色の点滅に変わり送信を止めることができます。
④クローン機のインジケーターは緑色の早い点滅をしてデータを受信します。40 ~ 50 秒そのまま待つとクローンが終わったことをお知らせして自動的に再起動し、エアクローンが終了します。
エラー時は「受信に失敗しました」とお知らせして赤と黄のインジケーターが点滅します。エラー時の操作は下記の注意欄で説明します。
⑤マスター機の「左」キーを押すとまたエアクローン送信をします。マスター機のエアクローンを終了するときは電源を切ります。

注意
- エアクローンにかかる時間は 45 秒~ 50 秒ほどです。事前に電池を充電をしておいてください。
- 初期値ではエアクローンモードになると CH30 を自動的に選択します。エラーになるときは CH30 に強い電波が出ている可能性があります。この時はエアクローンモードで「下」キーを押し、全ての無線機のチャンネルを手動で変えてください。CH27 ~ 30 が総務省の推奨するデータ通信用チャンネルです。
- エラーになったときはマスター機の送信を止めてから、再度マスター機から送信してください。
- Bluetooth 機能のオンオフ設定はエアクローンされますが、ペアリング情報は設定されません。初めて Bluetooth 対応アクセサリーを使うときはペアリング操作をしてください。

参考

・クローン機にアンテナを接続すると混信を受けて、エラーになる可能性が高くなります。同じ机の上に並べてその前から送信する程度の距離であれば、クローン側はアンテナを外していてもエアクローンできます。

・・・・・・・ACSH(アクシュ) モード・・・・・・・

既に使用している無線機のチャンネルとユーザーコードを探知して、本機に同じものを自動設定する機能です。キー操作での設定を省略できます。

■ ACSH(Auto Connect Shake Hands) モードについて

- 設定元の無線機はデジタル簡易無線登録局 3R の AMBE コーデック機で、下記の状態、条件でなければメーカーや機種を問いません。
- 本機を ACSH モードにして、自動設定が完了するまで最長で 30 秒程度かかります。バッテリーパックを充電してから操作してください。
- ACSH モードは 1 分経つと誤設定を防ぐため自動的に電源が切れます。多数の無線機を ACSH する時は複数回に分けるか、誰かに手伝ってもらうなどしてください。
- ACSH モードでの自動設定は、外来電波による誤判定を防ぐため近距離で行ってください。自動設定中は電源を切らないでください。
  机の上に並べてそのすぐ前から送信する程度の距離であれば、外来電波を受信しないように受信側のアンテナを外してください。
- ACSH モードで自動設定すると、誤操作を防ぐためキーロックします。設定変更などのキー操作をするときは、次のページで説明するキーロック (P.31) を参照して解除してください。
- リセットすると ACSH モードで自動設定した内容は消去され、初期化します。

■ ACSH ができないもの

- 秘話設定 (送信側)：秘話通信の性質に配慮して、秘話が掛かった電波は自動設定しないようにしています。
- CH15 (送信側)：呼び出しチャンネルです。他のチャンネルを選んでください。
- 上空用 3S のチャンネル：本機の上空用 CH 受信設定をしていても ACSH できません。
- 設定元の無線機が個別呼び出しモードになっていると ACSH できません。

■ ACSH モードの操作

①本機の電源を切った状態で「電源」キーを押し続けます。電源が入り、途中チャンネル番号など起動時のお知らせし、インジケーターが青色に点灯しますが、そのまま約 7 秒押し続けます。操作中に「キーロック中です」とお知らせしたら次のページで説明するキーロックの解除をしてから同じ操作を繰り返します。

②「アクシュモードです、設定元のトランシーバーを送信してください」とお知らせして、青色と緑色の交互点滅をします。
ACSH 設定したい無線機を全て ACSH モードにします。

③準備できたら設定元となるトランシーバーを送信状態にします。ACSH モードが終わるまで送信します。ACSH モードの電波探知中、電源を切ると設定を中止します。電源を入れると ACSH 設定前の状態で正常に起動します。

④正常に終了すると「自動設定が完了しました。」に続いて設定したチャンネルとユーザーコードをお知らせした後、キーロックします。
ACSH設定できなかったときはお知らせした後に電源が切れます。エラーの原因を修正した後で再度①から操作してください。リセット操作は不要です。

キーロック

使用時に誤ってキーが操作されることを防ぐ機能です。電源を切った状態で、「左」キーを押したまま「電源」キーを長押しすることでキーロックが設定されます。キーロック時は「上」/「下」キーでの受信音量の変更、電源の入 / 切の操作、モニター機能、PTT(本体は設定時だけ) が使用可能です。キーロックを解除するときは設定と同じ操作をします。

モニター機能

「上」キーと「下」キーを同時に押すとモニター機能がオンになり、設定したユーザーコードにかかわらず音声をモニターする機能です。同じ操作でオフになります。また、電源を切ってもモニター機能はオフになります。

注意
- 秘話通信を設定している信号をモニターしても「ギャラギャラ」とノイズのような音が鳴り続け通話内容を聞き取ることはできません。
- モニター動作中に出る「ザー」という音は時々途切れることがあります。イヤホンやスピーカーの接触不良と誤解することがありますが、異常ではありません。
- モニター動作中は標準セットモードに入れません。

リセット

本機の電源を切った状態で、「右」キーを押したまま「電源」キーを約 7 秒長押しすると「リセットしました」とお知らせし、ご購入時の状態になります。

参考

- 標準、詳細セットモードを含めて初期化されます。
- 録音データと Bluetooth 機能のペアリング情報は全て消去され、復元できなくなります。
- 販売店によって納入前に各設定がプログラミングされているときはリセットが使えないことがあります。
- 編集ソフトでプログラムされたものも含み、プリセットチャンネルはリセットされません。編集ソフトを使わないとプリセットチャンネルの内容変更や消去はできません。
- 無線機の設定が分からず、通話できなくなったときもリセットしてから正常に動作する無線機をマスター機にしてエアクローンするのが一番確実な復旧方法です。

4 通信制限について

全てのデジタル簡易無線登録局には電波法に基づく下記の制限が設けられています。

キャリアセンス

通信中のチャンネルで送信操作を行うと、ガイダンスで警告し、送信できなくする機能です。
先に通話中の人に妨害を与えないために設けられています。
・各種の選択通話設定（ユーザー･個別･秘話など）がされているとそのチャンネルが使われているかどうか分からず、キャリアセンスに気づかないことがあります。

送信時間制限装置

連続して通話できる時間は、「5 分以内」と規格で定められています。
連続した送信が 5 分を超えると自動的に送信を停止 (タイムアウト) し、停止後 1 分間は送信できなくなります。チャンネルの独占や長話を防いで、なるべく多くの人がチャンネルを共有できるようにするためです。タイムアウトの前に警告音でお知らせします。返事をする前に時々 3 秒程度の間をとって、内部タイマーをリセットしながら通話するとタイムアウトを防げます。用がある別の人を割り込ませられるメリットが有るので「ブレークタイム」と呼ばれています。

呼び出し用チャンネル

CH15 はデジタル簡易無線登録局の規格で定められた呼び出しチャンネルです。このチャンネルにユーザーコードや秘話を設定することはできません。ここで長時間通話することは他のユーザーの迷惑となるのでおやめください。

通信の互換性について

本機は音声圧縮方式 AMBE+2™ を採用した他社製の DCR 無線機と基本の音声通信 (ユーザーコード・デジタル秘話通信を含む) はできますが、RALCWI 方式の無線機とは通話できません。AMBE 方式を採用する弊社製 DCR 同士では、機種が異なっても通話できます。

5 便利な機能

よく使う機能の操作方法です。

重要 ■本機のセットモードについて

本機をより便利に、自分に合った状態でお使いいただくため、標準と詳細の 2 つのセットモードがあります。標準はよく使ったりときどき設定を変えると便利であったりする項目、詳細は一度設定したらあまり変更する必要がない項目です。

これから「○○セットモードで XX を設定します」という説明がひんぱんに出てきます。このセットモードにする操作は設定変更の基本になるので、ここで使い方を説明します。チャンネルモードは全て、プリセットモードでも一部の例外を除いてこの方法で各機能を変更できます。今後はこの操作を省略して「○○セットモードで～」のように説明することがあります。

■セットモードの選択

標準：「右」キーと「左」キーを同時に押すと、「標準セットモード」、項目番号と内容をお知らせし、インジケーターが白色に点滅します。

詳細：電源を切った状態で、「下」キーを押したまま「電源」キーを長押しすると、「詳細セットモード」、項目番号と内容をお知らせし、インジケーターが白色に点灯します。

■セットモードの操作

セットモード項目は「右」キーで昇順､「左」キーで降順に変わります。設定値は「上」キーと「下」キーで選択できます。長押しによる順送りはできません。「電源」キーを押すと現在のセットモードの項目番号と内容をお知らせします。

「PTT」キーを押すか、「右」/「左」キーを同時に押すか、約 60 秒間操作しないと現在の状態を確定して受信待受状態に戻ります。

次回セットモードに入ると、前回終了した項目から始まります。

電源を切ったときは最初の項目から始まります。

接客モード

イヤホンマイクを装着時に、簡単な動作で受信音量を小さくする機能です。あらかじめセットした時間が経過すると元の音量に戻ります。接客モードの動作は標準セットモードの「12. 接客モード」で設定します。キー操作で受信音量を小さくするよりも素早く小さくでき、自動で復帰するのが特徴です。

ハンド：イヤホンマイクの「PTT」キーを短く押すと受信音量が小さくなります。設定時間を超えるか受信音量を小さくしたときと同じ操作で解除されます。
タッチ：イヤホンマイクを軽くたたくことで受信音量が小さくなります。設定時間を超えるか受信音量を小さくしたときと同じ操作で解除されます。Bluetooth 接続時はタッチモードは使えません。
ボイス：イヤホンマイクに声を入れると受信音量が小さくなり、声が入っている間は継続します。声が聞こえなくなると解除されます。

■接客モードの設定手順

①「右」キーと「左」キーを同時に押すと、インジケーターが白色の点滅になり、標準セットモードになります。
②「右」/「左」キーで「12. 接客モード」を選びます。
③「上」/「下」キーで動作モードを選びます。
設定を確定して受信待受状態に戻るには「PTT」キーを押すか、①の操作と同じ操作します。
接客モードが動作中のときは、インジケーターが水色に点灯をします。

・動作解除忘れを防ぐため、一定時間が経つと自動的に動作が解除されます。動作が解除される時間は詳細セットモード「3. ハンドとタッチの切り忘れ防止タイマー」、「4. ボイスの保持時間」で設定できます。それぞれ初期設定は 15 秒、3 秒です。

・接客モードは VOX 機能、PTT ホールド機能設定時は使えません。
・ボイスは音声以外で作動してしまうような騒音の大きい場所では使えません。
・マイク類の機種名の末尾に A が付かないものは接客モードに対応しません (P.60)。本体のマイクも接客モードに対応しません。
・ハンド設定時は送信開始までに遅延が起こるため、音声の始めが途切れる場合があります。「了解です、〜」「はい、〜」のような途切れても支障がないような言葉から話し始めると通話しやすくなります。

Bluetooth 機能

Bluetooth 対応アクセサリーと接続するときに使います。本機は、最大 8 台までの弊社製 Bluetooth 対応アクセサリーを登録できます。正しく設定できたことを確認するため、Bluetooth 機器 1 台ごとに個別にペアリングすることをお勧めします。他社製の Bluetooth 対応イヤホン、イヤホンマイク類はペアリングできません。

■Bluetooth 対応イヤホンマイク、スピーカーマイク

本機の Bluetooth 機能に対応するマイクを使って通話ができます。

- Bluetooth の通信範囲は約 10m（目安）です。マイクの電波が本機に届く範囲は通話できるので、使用者が移動することが無い用途であれば本機を体から外して、机の上に置くなどすると通話エリアが広がる場合があります。
- 登録台数が 8 台を超えるとペアリング情報が古いものから自動で削除されます。
- 下記の機能は Bluetooth に接続していると使えません。機能をオフにしたうえで、有線式のマイクをお使いください。
  - デュアルオペレーション
  - 接客モードのタッチモード
  - コールバック

ペアリング方法

ペアリングとは Bluetooth 対応アクセサリー（本項目中、以下アクセサリー）と本機をお互いに登録し、接続をする操作のことです。一度ペアリングしたアクセサリーとは、それ以降ペアリングする必要はありません。

【ご注意】

- 複数の Bluetooth 機器がある場所では、ペアリングしたいアクセサリーを正しく検索できないことがあります。このような時は必要なアクセサリーだけになるように、使っていない Bluetooth 機器の電源を切るか、それらの機器からはなれてください。
- リセットすると登録されたペアリング情報は全て消え、復元できなくなります。あらためて登録したい機器とペアリングしてください。
- 8 台を超えてペアリングすると、古いペアリング情報は自動で消えます。ペアリング情報が消えたら、再度ペアリングしてください。

操作を始める前に、それぞれの機器を充電して電源が切れないようにします。イヤホンマイクであれば、イヤホンを耳に装着します。

1. DJ-DPX2 の Bluetooth 機能をオンにしてペアリングモードにする

①「右」キーと「左」キーを同時に押し、「標準セットモード」に入ります。項目番号と内容をお知らせし、インジケーターが白く点滅します。
② セットモードで「右」キー（昇順）か「左」キー（降順）を押して、14「Bluetooth」を選びます。
③「上」キーまたは「下」キーで「オン」に設定します。
※「電源」キーを押すと現在のセットモードの項目番号と内容をお知らせします。
④「PTT] キーを押すか、「右」/「左」キーを同時に押すか、約 60 秒間操作しないと現在の状態を確定して運用モードに戻ります。
⑤ DJ-DPX2 の「右」キーと「上」キーを長押しすると、インジケーターが赤と緑の交互点滅し、ペアリングモードになります。
※ 初めてご使用になるときは電源を入れるだけでペアリングモードになります。

2. アクセサリーをペアリングモードにする

① インジケーターがオレンジ色に点灯後、緑で早く点滅するまで「電源」ボタンを長押しします。
②「ペアリング中です」と音声が聞こえ、インジケーターが緑で早く点滅したら、「電源」ボタンから手をはなします。
※ 弊社製のアクセサリーを初めてご使用になるときは電源を入れるだけでペアリングモードになります。
※ ペアリングできる無線機が見つからない状態が５分つづくと、電源が切れます。

3. DJ-DPX2 とアクセサリーをペアリングする

① DJ-DPX2 とアクセサリーをペアリングモードにします。
② 接続できたら本機は青で短い点滅に変わります。
※ 既にペアリング済みの機器があり、どの機器とも未接続のときは、本機は青色で 2 回点滅になります。

参考 ペアリング後の動作について
一度ペアリングした Bluetooth アクセサリーとは、それ以降ペアリングする必要ありません。
下記の条件を満たしている場合、自動で接続します。
- 無線機の Bluetooth 機能が「オン」
- 無線機が待ち受け状態
- Bluetooth アクセサリーが「オン」

注意 8 台を超えてペアリングすると、古いペアリング情報は自動で消えます。ペアリング情報が消えたら、再度ペアリングしてください。

注意 Bluetooth の通信においては、周辺機器の影響で通信範囲が著しく変化します。
- 電子レンジなどによる妨害
- 無線 LAN による妨害

このような場合は、ほかのワイヤレス通信を停止させたり、電子レンジなどの使用を中止したり、周辺機器との距離をはなすなどしてください。
また、Bluetooth 機器と本製品の距離をできるだけ近づけると、通信状況が改善することがあります。

短縮キー動作

「左」キーは初期状態では下記の「CH ダウン」ですが、他の機能を使うための短縮（ショートカット）キーとしても使えます。
標準セットモード「11. 短縮キー動作」でどの機能に割り当てるかを選びます。

CH ダウン … 初期状態の動作です。本書もこの状態で説明しています。
PTT … イヤホンマイクが断線するなど非常のときはこのキーを PTT として、本体のマイクで通話できます。キーロック中でも送信できます。

下記を選ぶと、「左」キー長押しでショートカット操作ができます。
＊マークが付いている設定はチャンネルモード専用の機能です。プリセットモードで割り当てていても操作は無効になります。

送信出力切替 … 長押しすると送信出力を切り替えます。
最新の録音データを再生 … 長押しすると最後に録音されたデータを再生します。
プライベート CH＊ … よく使うチャンネルを設定しておき、長押しですぐに呼び出せます。
スキャンのオン・オフ＊ … 長押しするとスキャンが始まり、再度長押しすると止まります。
デュアルオペレーションのオン・オフ＊ … 長押しするとデュアルオペレーションのオン / オフを切り替えられます。（Bluetooth 接続時はデュアルオペレーションを設定していてもスキップされ使用できません。）
ユーザーコードのオン・オフ＊ … 長押しすると設定しているユーザーコードを一時解除できます。もう一度押すと戻ります。
秘話コード (強化秘話) のオン･オフ＊ … 長押しすると設定している秘話コードを一時解除できます。もう一度押すと戻ります。

スキャン機能

チャンネルモード専用の機能です。自動的にチャンネルを切り替えて通話の行われているチャンネルを探索する機能です。「11. 短縮キー動作」を「スキャンのオン・オフ」に割り当てて「左」キーを長押しすると、インジケーターが水色の早い点滅になりスキャンが始まります。信号を受信するとスキャンは自動的に止まり、詳細セットモード「25. スキャンタイプ」で設定した条件でスキャンを再開します。スキャン中は「上」/「下」キーの受信音量しか変更できず、電源を切ってもスキャン状態は保持されています。また、「PTT」キーを押すか「左」キーを長押しするとスキャンが止まります。

プライベートチャンネル

チャンネルモード専用の機能です。よく使うチャンネルをプライベートチャンネルに設定することで、簡単に呼び出すことができます。詳細セットモードの「30. プライベート CH」で、よく使うチャンネルを選んで、標準セットモードの「11. 短縮キー動作」を「プライベート CH」に割り当てます。チャンネルモードで「左」キーを長押しすると、プライベートチャンネルに切り替わります。「電源」キーを押すとチャンネル番号などをお知らせします。同じ操作で元のチャンネルに戻ります。

デュアルオペレーションモード

注意
- チャンネルモード専用の機能です。このモードを使用中は接客モード、VOX 機能、バッテリーセーブ機能は無効になります。
- 設定していても、Bluetooth 接続時は動作しません。

あらかじめ設定したメインとサブ、2 つのチャンネルを自動的に交互受信して、そのどちらとも任意に通信することができます。「上」キーを押したまま「電源」キーを長押ししてチャンネルモードにします。
詳細セットモードの「26. メイン CH」、「27. サブ CH」でメインとサブチャンネルを指定します。標準セットモード「11. 短縮キー動作」を「デュアルオペレーションのオン・オフ」に割り当てて「左」キーを長押しします。インジケーターが水色の点滅になりデュアルオペレーションが始まります。

メイン側を送信するときは「PTT」キーを通常通り操作します。サブ側は二度押しします。送信時、メイン側はインジケーターが赤、サブ側では黄色に点灯します。メイン側を受信すると「ピッ」音が鳴り、サブ側は「ピピッ」音が鳴ります。自動交互受信を再開させる時間は詳細セットモード「28. デュアルオペレーションの再開時間」で設定できます。
同じ操作で終了できます。

参考
- 二度押しとは一度短く押した後ですぐに同じキーを押すことです。

6 詳細機能

より便利に使ったり、よく使う機能の動作条件を指定する方法です。

ユーザーコード通信

同じ番号に設定している信号を受信したときだけ音声が聞こえるので、混信を避けて快適に待ち受けできる機能です。チャンネルモードだけ手動設定が可能で、プリセットモードはパソコン編集しかできません。詳細セットモード「6. ユーザーコード」でオフ（000)、001 ～ 511 の中から任意の番号を指定して使います。通話したいグループのメンバー全員に同じコードを設定してください。エアクローン機能を使うと簡単にできます。設定したコードは CH15 を除く全てのチャンネルで共通になります。

①電源を切った状態で、「下」キーを押したまま「電源」キーを長押しすると詳細セットモードになります。

②「6. ユーザーコード」の項目に合わせ、「上」/「下」キーのどちらかを押すと、インジケーターが黄色・白色の交互点滅し、番号の一の桁から変更できます。(例、000 の時に「上」キーを押すと 001 に、「下」キーを押すと 511 になります。）
「上」キーで昇順、「下」キーで降順に設定可能な数字が選べます。
「右」キーを押すごとに変更する桁を一の桁から十、百の桁へ切り替えられます。同様に「上」/「下」キーで設定可能な番号をそれぞれ指定します。
「電源」キーを押すと現在の番号をお知らせします。

③「左」キーを押すと「ピ！」と短いビープ音が鳴り、①の状態に戻ります。①の状態に戻らなくても番号を変更したと同時に本機に反映しているので、「左」キーを押さないまま詳細セットモードを出ても最後の組合せは記憶しています。
ユーザーコードを 000 にするとユーザーコード通信をしない設定になり、「電源」キーを押すと「オフ」とお知らせします。

参考

- 関係ない信号を受信しないで済む機能です。秘話機能ではありません。チャンネルを合わせば、ユーザーコード機能を使っていない無線機で普通に受信できます。他社製トランシーバーともユーザーコード通信ができます。
- 詳細セットモードの「6. ユーザーコード」の項目もしくはユーザーコードの設定変更中のインジケーターが黄色･白色の交互点滅のとき、「左」キーの長押しでユーザーコードをオフにできます。もう一度同じ操作をすると、オフになる前のユーザーコードに戻ります。

••••••••• 秘話と強化秘話通信 •••••••• •

この設定をしていない無線機で受信すると「ギャラギャラ」とノイズに聞こえ、通話内容を聞き取れなくする機能です。他人に聞かれたくない通話をするときに設定します。通常の秘話コード（番号）は 32,767 通りですが、市販されている専用の受信機を使えば解読でき、通話を聞かれる可能性があります。強化秘話はそれとは別に 491,505 通りがあります。本書の編集時点では市販の受信機で受信できるものはありませんが、100% のセキュリティは保証いたしかねます。チャンネルモードだけ手動設定が可能で、プリセットモードはパソコン編集しかできません。

■秘話番号の設定

全員に同じ番号を設定するときは、後でエアクローン機能を使うと簡単にコピーできます。

①電源を切った状態で、「下」キーを押したまま「電源」キーを長押しすると詳細セットモードになります。

②「7. 秘話コード」の項目に合わせ、「上」/「下」キーのどちらかを押すと、インジケーターが黄色・白色の交互点滅して、番号の一の桁から変更できます。(例、00000 の時に「上」キーを押すと 00001 に、「下」キーを押すと 32767 になります。)
「上」キーで昇順、「下」キーで降順に設定可能な数字が選べます。
「右」キーを押すごとに変更する桁を一の桁から十、百、千、万の桁へ切り替えられます。同様に「上」/「下」キーで設定可能な番号をそれぞれ指定します。「電源」キーを押すと現在の番号をお知らせします。

③「左」キーを押すと「ピ！」と短いビープ音が鳴り、①の状態に戻ります。
①の状態に戻らなくても番号を変更したと同時に本機に反映しているので、「左」キーを押さないまま詳細セットモードを出ても最後の組合せは記憶しています。
00000 にすると秘話コードの設定はオフになり、「電源」キーを押すと「オフ」とお知らせします。

■秘話タイプの設定

詳細セットモードの「8. 秘話タイプ」で標準、強化秘話 1 ～強化秘話 15 まで、16 通りの設定が選べます。32,767+（15 × 32,767=491,505）=524,272 通りの秘話コードとなります。

注意
- 標準秘話は他社製デジタル簡易無線機と同じ秘話コードに合わせて通話できます。
- 強化秘話は弊社製の対応する登録局間で通話できます。
- 詳細セットモードの「7. 秘話コード」の項目もしくは秘話コードの設定変更中のインジケーターが黄色・白色の交互点滅のとき、「左」キーの長押しで秘話コードをオフにできます。もう一度同じ操作をすると、オフになる前の秘話コードに戻ります。

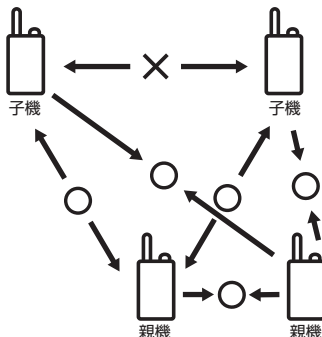
通話録音機能

通話録音機能とは送受信音を録音できる機能です。通信が終わり詳細セットモード「15. 録音停止時間」で設定した時間が経過すると、録音が停止します。標準セットモード「13. 録音データ再生」で「上」/「下」キーで再生したい録音データを選び「左」キーを長押しすると再生できます(P.51)。「11. 短縮キー動作」を「最新の録音データを再生」に割り当てると、「左」キー操作で最後の録音を再生停止できます。

31 件分の受信音声や送信音声を録音できます。録音可能時間は保存件数に関係なく合計 35 分が上限です。無音時の空白は除去して録音します。
録音件数や録音時間を超えた場合、古い録音から自動的に消去されます。
録音音声を再生しているときに信号を受信すると再生を停止して受信音声が聞けます。ユーザーコードが不一致の信号では再生を継続します。再生中に「PTT」キーを押すと、再生を停止します。
出力される音はアナログなので EDS-14 ケーブルでΦ 3.5mm のモノラルジャックに変換、そこにモノラルオーディオケーブルをつないで IC レコーダーなどに内容を再録音することは可能ですが、出力レベルなどが適合するか弊社では分かりかねるため動作の保証はできず、お尋ねにもお答えできません。

注意 詳細セットモード「15. 録音停止時間」はどれだけの時間通話が無かったら録音を停止するか、の時間設定です。
録音可能件数には 31 件の制限があります。設定時間が短かいとそれぞれの通話が 1 件としてカウントされるため制限件数に達しやすくなり、長すぎると関係のない通話まで 1 件として録音される可能性があります。録音の目的に合わせて調節してください。
待ち受け時の無音状態は録音されません。この停止時間中は録音した音声を再生できません。

子機間通話禁止機能

無線連絡に慣れない多数のユーザーに対して管理者が統制通信をするときに便利なモードです。親機と子機、又は親機同士の場合だけ通話ができて、子機同士の通信は禁止されます。親機を持つ指揮者だけが子機に指示を出せるので、子機同士が話す間違った情報が拡散したり、子機同士が通話中で緊急の指示が出せないといった不便が無くなります。詳細セットモード「12. 親機子機切替」で設定します。親機は複数設定できます。ユーザーコードや秘話もそのまま使え、チャンネルモードでもプリセットモードでも動作します。

この機能を使わないときは全ての無線機を親機に設定してください。

受信音質調整機能

受信音声の音質を調節できます。聞き取りやすいと感じるように設定してください。詳細セットモード「20. 低音域抑制」、「21. 高音域抑制」それぞれでレベルを設定します。

受信音量一定化機能

受信時、人によって異なる声の大きさを一定化して、快適に受信できます。詳細セットモード「19. 音量一定化」で設定します。

ノイズ抑制機能

音声に含まれるノイズ成分を抑えて音声を際立たせる機能です。
詳細セットモード「17. ノイズ抑制機能」で設定します。

注意
- ノイズの種類によっては効果が弱く感じられることがあります。
- 雑音を抑えるまで時間がかかることがあります。
- 相手の声だけでなく周囲の音も合わせて聞きたいときはオフにしてください。ただし音声以外の環境音、音楽、動物の鳴き声などはデジタル簡易無線の動作原理上、正確に再現できません。

VOX 動作

「PTT」キーを押して送信する代わりに、「マイクに入ってきた声」に反応して自動的に送信する機能です。マイクに話しかければ自動的に送信し、話をやめれば自動的に受信待受状態になります。詳細セットモード「5.VOX 動作」、標準セットモード「4.VOX 動作レベル」で、VOX の動作条件と動作レベルを設定することができます。

■VOX 動作

通常 VOX 動作 …送受信共に、自動で切り替わります。
送信開始時 PTT キー …「PTT」キーで送信、話し終わると自動で受信になります。頭切れと、咳払いなどでの誤送信を防げます。
送信終了時 PTT キー …自動で送信して、「PTT」キーで受信になります。息継ぎなどで通話が途切れたり、任意のタイミングで送信を終わりたいときに便利です。

参考

- 通話中「PTT」キーを押し続けるのがわずらわしい時は標準セットモード「10.PTT ホールド」を使うと、話し始めと終わりに「PTT」キーを押すだけで通話できるようになります。環境音が大きく VOX が使えない場所でハンズフリーで話したいときに便利です。
- 標準セットモード「4.VOX 動作レベル」を正しく設定しないと誤送信します。送信が止まらないときは「右」キーを押してください。調整しても誤動作するときは、その環境ではお使いになれません。

7 セットモード

セットモード一覧

P.34 で既にご説明しているセットモードの詳細です。

標準セットモード

※は Bluetooth 接続時の条件です（No.2、5、6、7 の設定項目と No.11 の「デュアルオペレーションのオン・オフ」、No.12 の「タッチ」はスキップされます）

B T (Bluetooth) 欄：
Bluetooth・有線どちらのマイクでも使えるもの＝○
Bluetooth 使用時制限があるもの＝△
Bluetooth 対応しないもの＝ X

No.	設定項目	初期値	設定値	参照	BT
1	送信出力	5W	送信禁止 /1W/2W/5W	P.49	○
2	外部音量	中	小 / 中 / 大（※設定値なし）	P.49	△
3	外部マイク感度	標準	最小 /-4/-3/-2/-1/ 標準 /+1/+2/+3/ 最大	P.49	○
4	VOX 動作レベル	4	1/2/3/4/5/6/7	P.49	○
5	ガイダンス音量	2	1/2/3/4（※設定値なし）	P.49	△
6	ビープ音量	2	0/1/2/3/4（※設定値なし）	P.50	△
7	コールバック	オフ	オフ /1/2/3/4/5（※使用不可）	P.50	×
8	エンドピー	オフ	オフ / 低音レベル 1/ 高音レベル 1/ 低音レベル 2/ 高音レベル 2/ 低音レベル 3/ 高音レベル 3	P.50	○
9	PTT ビープ	低音レベル 2	オフ / 低音レベル 1/ 高音レベル 1/ 低音レベル 2/ 高音レベル 2/ 低音レベル 3/ 高音レベル 3	P.50	○
10	PTT ホールド	オフ	オフ / オン	P.50	○
11	短縮キー動作	CH ダウン	CH ダウン /PTT/ 送信出力切替 / 最新の録音データを再生 / プライベート CH/ スキャンのオン・オフ / デュアルオペレーションのオン・オフ（※使用不可）/ ユーザーコードのオン・オフ / 秘話コードのオン・オフ	P.50	△
12	接客モード	オフ	オフ / ハンド / タッチ / ボイス（※タッチは使用不可）	P.51	△

No.	設定項目	初期値	設定値	参照	BT
13	録音データ再生		「上」/「下」キーでデータを選択し「左」キーの長押しで再生	P.51	○
14	Bluetooth	オン	オフ / オン	P.51	○

詳細セットモード

No.	項目	初期値	設定値	参照	BT
1	ボイスの感度	4	1/2/3/4/5/6/7	P.51	○
2	タッチの感度	標準	低い / 標準 / 高い	P.51	×
3	ハンドとタッチの切り忘れ防止タイマー	15 秒	5 秒 /10 秒 /15 秒 /30 秒 /60 秒	P.51	△
4	ボイスの保持時間	3 秒	1 秒 /2 秒 /3 秒 /4 秒 /5 秒	P.51	○
5	VOX 動作	オフ	オフ / 通常 VOX 動作 / 送信開始時 PTT キー / 送信終了時 PTT キー	P.52	○
6	ユーザーコード	オフ	オフ、001 ～ 511	P.52	○
7	秘話コード	オフ	オフ、00001 ～ 32767	P.52	○
8	秘話タイプ	標準秘話	標準秘話 / 強化秘話 1 ～ 15	P.52	○
9	オートパワーオフ	オフ	オフ /30 分 /1 時間 /2 時間 /3 時間 /4 時間 /5 時間 /6 時間	P.52	○
10	バッテリーセーブ	オフ	オフ／オン	P.52	○
11	イヤホン断線検出	オン	オフ／オン	P.52	○
12	親機子機切替	親機	親機 / 子機	P.53	○
13	録音動作	オフ	オフ / オン	P.53	○
14	録音データ消去	「左」キー長押しで全消去		P.53	○
15	録音停止時間	10 秒	1 秒 /5 秒 /10 秒 /20 秒 /30 秒	P.53	○
16	内部マイク感度	標準	低い / 標準 / 高い	P.53	○
17	ノイズ抑制機能	オン	オフ／オン	P.53	○
18	トーン抑制機能	オフ	オフ／オン	P.53	○
19	音量一定化	オフ	オフ / 大音抑制 / 小音増幅弱 / 小音増幅強	P.53	○
20	低音域抑制	オフ	オフ / 抑制レベル弱 / 抑制レベル強	P.54	○
21	高音域抑制	オフ	オフ / 抑制レベル弱 / 抑制レベル強	P.54	○
22	対象外受信	オフ	オフ／オン	P.54	○
23	受信ゲイン	高い	低い / 高い	P.54	○
24	上空用 CH 受信	オフ	オフ／オン	P.54	○
25	スキャンタイプ	ビジー	ビジー / タイマー 5 秒 / タイマー 10 秒 / タイマー 20 秒 / タイマー 30 秒 / タイマー 60 秒	P.54	○

No.	項目	初期値	設定値	参照	BT
26	メイン CH	CH1	CH1 ～ 30、上空 S1 ～ 5	P.54	×
27	サブ CH	CH2	CH1 ～ 30、上空 S1 ～ 5	P.55	×
28	デュアルオペレーションの再開時間	5 秒	1 秒～ 10 秒	P.55	×
29	デュアルオペレーションの CH 切替間隔	0.5 秒	0.5 秒～ 2.0 秒	P.55	×
30	プライベート CH	CH1	CH1 ～ 30、上空 S1 ～ 5	P.55	○
31	減電池警告	1 回のみ	オフ /1 回のみ /30 秒ごと / 1 分ごと /2 分ごと /5 分ごと / 10 分ごと	P.55	○
32	送信制限警告	オン	オフ／オン	P.55	○

セットモード基本操作

本機をもっと使いやすくするために、各種機能の動作をカスタマイズできます。セットモードは標準と詳細があります。標準は自分が使いやすいように変更できる項目、詳細は無線機管理者や上級ユーザーがその意味や機能を知ったうえで変更する項目です。意味が分からずに変更すると、使い勝手が悪くなったり、故障かと思うような動作をする場合があります。

参考 本機は設定を表示する液晶画面がないので、設定状態が分かりにくくなっています。誤ってセットモード設定を変えてしまい通話ができなくなった時は以下の操作をしてください。

■正常に動いている無線機に合わせたい：ACSH またはエアクローンで設定内容をコピーする。（P.29、P.30）

■チャンネルを合わせる程度しかカスタマイズしていない：
リセットしてチャンネルを合わせる。（電源を切った状態で、「右」キーを押したまま「電源」キーを約 7 秒押しつづけ、リセット終了のお知らせが聞こえたら指を放す）

本機は液晶が無いため、お電話での操作説明が非常に困難です。サービスセンターにお電話いただいても上記の操作をお勧めするしかできない場合がございます。

注意 Bluetooth 対応アクセサリーと接続していなくても、Bluetooth 対応アクセサリーを使用中でも、セットモードに入ったときは全て本体スピーカーから音声がでます。ねじ込み式の有線イヤホンマイクまたはスピーカーマイクを装着している時は、イヤホンまたはスピーカーから音声がでます。

■標準セットモードの設定方法

既に P.34 でご説明した操作です。

①電源を入れます。「右」キーと「左」キーを同時に押すと、「標準セットモード」、セットモードの項目番号と内容のガイダンスが流れ、インジケーターが白色に点滅します。
②セットモード項目は「右」キーで昇順、「左」キーで降順に切り替えられます。長押しによる順送りはできません。「電源」キーを押すと現在のセットモード項目をお知らせします。
③設定したい項目に合わせたら、「上」/「下」キーで設定値を変更します。
④「PTT」キーを押すか、「右」キーと「左」キーを同時に押すか、約 60 秒間操作しないと現在の状態を確定して受信待受状態に戻ります。

■詳細セットモードの設定方法

既に P.34 でご説明した操作です。

①電源をオフにします。「下」キー押したまま「電源」キーを長押しすると、インジケーターが紫色に点灯して「詳細セットモード」、セットモードの項目番号と内容のガイダンスが流れ、インジケーターが白色に点灯します。
②セットモード項目は「右」キーで昇順、「左」キーで降順に切り替えられます。長押しによる順送りはできません。「電源」キーを押すと現在のセットモード項目をお知らせします。
③ 設定したい項目に合わせたら、「上」/「下」キーで設定値を変更します。
④「PTT」キーを押すか、「右」キーと「左」キーを同時に押すか、約 60 秒間操作しないと現在の状態を確定して受信待受状態に戻ります。

注意 ・スピーカーマイクの使用に関するご注意
これから説明する標準セットモードの「5. ガイダンス音量」で 1 を選ぶと、非常に小さな音になりますが異常ではありません。音声ガイダンスを周りの人に聞かせたくないときの設定レベルです。マイクを耳に近づけてお使いください。

セットモード

説明済の項目は詳細を省略しています。項目番号、項目名、設定値は音声でお知らせします。機能を使わないときは「オフ」（使わない）を選びます。設定値を選ぶ項目に「オフ」はありません。

■標準セットモード

1. 送信出力

送信出力を選択します。初期値は 5W です。
送信禁止 /1W/2W/5W

2. 外部音量

SP/MIC 端子から出力する受信音量の最大レベルを 3 段階で選べます。初期値は中です。大にすると大きな音がするのでイヤホンで使うときは注意してください。
小 / 中 / 大
※ Bluetooth 接続時、本設定項目はスキップされます。

3. 外部マイク感度

SP/MIC 端子につないだマイクの感度を変更できます。
初期値は標準です。
最小 /-4/-3/-2/-1/ 標準 /+1/+2/+3/ 最大

4. VOX 動作レベル

VOX が送信するときの音量レベルを選択します。
数字が大きいほど小さな声でも反応します。初期値は 4 です。
1/2/3/4/5/6/7

5. ガイダンス音量

SP/MIC 端子から出力するガイダンスの音量を選びます。
数字が大きいほど音量が大きくなります。初期値は 2 です。
4 にすると大きな音がするのでイヤホンで使うときは注意してください。
スピーカーマイク使用時、音声ガイダンスを聞かれたくないときは 1 にして、マイクを耳に近づけてお使いください。
1/2/3/4
※ Bluetooth 接続時、本設定項目はスキップされます。

6. ビープ音量

ビープ音量レベルを選びます。
数字が大きいほどビープ音が大きくなります。初期値は 2 です。
0/1/2/3/4
※ Bluetooth 接続時、本設定項目はスキップされます。

7. コールバック

送信中自分が話している声をイヤホンで聞くことができる機能です。本当に送信しているか確認できて便利です。ボリュームとは連動しません。数字が大きいほど音声が大きくなります。初期値はオフです。
オフ /1/2/3/4/5
※ Bluetooth 接続時、本設定項目はスキップされ動作しません。

8. エンドピー

相手が話し終わったことを「ピッ」音で合図します。初期値はオフです。聞きたい側で設定します。送信側が出す音ではありません。
オフ / 低音レベル 1/ 高音レベル 1/ 低音レベル 2/ 高音レベル 2/
低音レベル 3/ 高音レベル 3

9. PTT ビープ

「PTT」キーを押すと「ピッ」と鳴り、鳴り終わってから話すことで頭切れを防ぎます。相手には音は聞こえません。数字が大きいほどビープ音が大きくなります。初期値は低音レベル 2 です。
オフ / 低音レベル 1/ 高音レベル 1/ 低音レベル 2/ 高音レベル 2/
低音レベル 3/ 高音レベル 3

10. PTT ホールド

「PTT」キーを一度押すと送信し、もう一度押すと受信待受状態に戻る機能です。初期値はオフです。PTT ロックがないマイクの PTT ロックとしても使えます。
オフ / オン

11. 短縮キー動作

「左」キーに任意の機能を割り当てることができます。
初期値は CH ダウンです。本書もその状態での操作を説明しています。
CH ダウン /PTT / 送信出力切替 / 最新の録音データを再生 /
プライベート CH / スキャンのオン・オフ /
デュアルオペレーションのオン・オフ（設定していても、Bluetooth 接続時はスキップされ動作しません。）/ ユーザーコードのオン・オフ /
秘話コードのオン・オフ

12. 接客モード

接客モードを選択します。初期値はオフ (使わない) です。
オフ / ハンド / タッチ / ボイス
※ Bluetooth 接続時、「タッチ」はスキップされ動作しません。

13. 録音データ再生

録音したデータを再生できます。
「上」/「下」キーでデータを選び「左」キーの長押しで再生します。

14. Bluetooth

弊社製 Bluetooth 対応アクセサリーと接続できます。
「右」キーと「上」キーの長押しでペアリングを開始します。初期値はオンです。
オフ / オン

■詳細セットモード

1. ボイスの感度

接客モードのボイスで、受信音量を小さくさせるときの声の大きさを設定します。
数値が大きいほど小さな声にも反応します。初期値は 4 です。
1/2/3/4/5/6/7

2. タッチの感度

接客モードのタッチで、受信音量を小さくさせるときのタッチの強さを設定します。「高い」は軽く叩くだけで反応します。初期値は標準です。
低い / 標準 / 高い

3. ハンドとタッチの切り忘れ防止タイマー

接客モードのハンドとタッチで受信音量を小さくしたときの継続時間を設定します。初期値は 15 秒です。設定時間が経過すると自動で設定音量に戻ります。
5 秒 /10 秒 /15 秒 /30 秒 /60 秒

4. ボイスの保持時間

接客モードのボイスで自分の話し声が無くなった後、何秒後に設定音量に戻るかを選択します。初期値は 3 秒です。
1 秒 /2 秒 /3 秒 /4 秒 /5 秒

5. VOX 動作

VOX の開始終了条件を選択します。初期値はオフです。
オフ / 通常 VOX 動作 / 送信開始時 PTT キー / 送信終了時 PTT キー

6. ユーザーコード

ユーザーコードを設定します。初期値はオフです。
オフ /001 ～ 511

7. 秘話コード

秘話通信で使用する秘話コードを設定します。初期値はオフです。
オフ /00001 ～ 32767

8. 秘話タイプ

強化秘話通信を使用するときに選択します。
初期値は標準秘話で、他社の秘話コードと共通です。
強化秘話は、対応する弊社製品間でしか通話できません。
標準秘話 / 強化秘話 1 ～ 15

9. オートパワーオフ

電源の切り忘れを防ぐ機能です。無操作の状態が設定された時間経過すると､自動的に電源が切れます。切れる 1 分前に音声で警告します。初期値はオフです。大事な通話を聞き漏らす可能性があるので業務での使用にはお勧めしません。
オフ /30 分 /1 時間 /2 時間 /3 時間 /4 時間 /5 時間 /6 時間

10. バッテリーセーブ

本体内部で電源を短い間隔でオンオフさせることで、受信待受状態の消費電力を抑えバッテリーを長持ちさせる機能です。初期値はオフです。
オフ / オン

・デジタル通信では、無線機は自分の交信相手かどうかなどを確認するデータを毎回発信します。バッテリーセーブ中にこの信号を受けると認識できず、呼び出し自体を無視することがあります。このため、特に業務ユーザーはこの設定をオフにしておくことをお勧めします。

11. イヤホン断線検出

電源を入れたときに、イヤホンが断線していたら音声で知らせる機能です。イヤホン断線したとき、音声で「イヤホンが断線しています」と 3 回ガイダンスが流れます。初期値はオンです。
オフ / オン

12. 親機子機切替

子機間通話禁止機能を使う設定です。初期値は親機です。
子機に設定した無線機は他の子機とは通話できなくなります。
親機 / 子機

13. 録音動作

録音するときオンにします。初期値はオフです。
オフ / オン

14. 録音データ消去

「左」キーを長押しすると録音したデータを消去できます。
全ての録音データが消去されます。

15. 録音停止時間

通信が終了してから何秒後に録音を停止するか選択します。停止までに通信があれば、録音は再開されます。初期値は 10 秒です。
待ち受けの無音状態は録音されません。
1 秒 /5 秒 /10 秒 /20 秒 /30 秒

16. 内部マイク感度

本体内部マイクの感度を変更できます。初期値は標準です。
大きな声で歪む時は「低い」、小さな声で聞き取りにくいといわれたときは「高い」にします。
低い / 標準 / 高い

17. ノイズ抑制機能

ノイズをデジタル処理で減らす機能です。初期値はオンです。
ノイズの音質によって効果は変わります。
オフ / オン

18. トーン抑制機能

サイレンのような一定周期で鳴る騒音を軽減します。
騒音の種類によって効果は変わります。初期値はオフです。
オフ / オン

19. 音量一定化

受信した音の大きさを均一化させる機能です。
初期値はオフです。
オフ / 大音抑制 / 小音増幅弱 / 小音増幅強

20. 低音域抑制

受信した音声の低音域を抑制する機能です。
初期値はオフです。
オフ / 抑制レベル弱 / 抑制レベル強

21. 高音域抑制

受信した音声の高音域を抑制する機能です。初期値はオフです。
オフ / 抑制レベル弱 / 抑制レベル強

22. 対象外受信

秘話通信設定中は他の信号が聞こえません。オンにすると、秘話設定されていない信号の受信もできます。例えば管理者だけが、自分のチャンネルに混信を受けていないかなどを確認しながら通話したい時に設定します。初期値はオフです。
オフ / オン

23. 受信ゲイン

敢えて受信感度を落とすことで、近くにある（別のチャンネルでも）強い信号が受信に与える「抑圧」と呼ばれる受信障害を軽減することができますが、通話距離は短くなります。初期値は「高い」です。普段は「高い」で使います。
低い / 高い

24. 上空用 CH 受信

上空用 CH(S1 ～ S5) を受信する機能です。初期値はオフです。
これらのチャンネルは送信できません。
オフ / オン

25. スキャンタイプ

スキャン時に受信した場合の動作を設定します。ビジーは受信終了後、タイマーは受信してから設定した秒数経過したらスキャンを再開します。初期値はビジーです。
ビジー / タイマー 5 秒 / タイマー 10 秒 / タイマー 20 秒 /
タイマー 30 秒 / タイマー 60 秒

26. メイン CH

デュアルオペレーションで使用するメイン CH を設定します。
初期値は CH1 です。
CH1 ～ CH30/ 上空 S1 ～上空 S5（送信できません）

27. サブ CH

デュアルオペレーションで使用するサブ CH を設定します。
初期値は CH2 です。
CH1 ～ CH30/ 上空 S1 ～上空 S5（送信できません）

28. デュアルオペレーションの再開時間

デュアルオペレーションで通話が終わってから自動交互受信を再開するまでの時間を設定します。初期値は 5 秒です。
1 秒～ 10 秒 (1 秒ステップ)

29. デュアルオペレーションの CH 切替間隔

デュアルオペレーションのメイン CH とサブ CH の自動交互受信の間隔を選択します。初期値は 0.5 秒です。
0.5 秒～ 2.0 秒 (0.1 秒ステップ)

30. プライベート CH

プライベート CH を設定します。初期値は CH1 です。
CH1 ～ CH30/ 上空 S1 ～上空 S5（送信できません）

31. 減電池警告

電池の残量が少なくなると音声でお知らせする機能です。
初期値は 1 回のみです。電池の残量が少なくなった状態ではインジケーターが黄色に点滅しています。
オフ /1 回のみ /30 秒ごと /1 分ごと /2 分ごと /5 分ごと /
10 分ごと

32. 送信制限警告

送信制限の 5 分が近いことをお知らせする機能です。
30 秒前に「ピピピ」、5 秒前に「ピー」と鳴ります。
初期値はオンです。タイムアウトさせられると 1 分間ペナルティとして送信できなくなります。
通話中、5 分以内に送受信がない状態が 3 秒以上続くと送信制限タイマーがリセットされ、送信制限を受けずに話せます。
オフ / オン

PC 編集機能

別売のERW-23、またはERW-7ケーブルとEDS-14変換ケーブルを使い、パソコンを使って本機の機能やプリセットチャンネルを編集したりデータを保存できます。書き込みが終わると無線機は自動的に再起動するので「イヤホンが断線しています。」と3回お知らせします。そのままケーブルを抜けば新しい設定状態でお使いになれます。編集ソフトの詳細は弊社ホームページをご覧ください。
https://www.alinco.co.jp/ 事業案内→電子事業部→ダウンロード→業務用無線機

ご注意とお願い：
この編集ソフトは主に無線機販売店の、業務ユーザー向け納品時設定の利便性を考慮してアフターサービスで無償配布するものです。このソフトが無くても本機は正しく動作するため、ソフトの利用はあくまで自己責任とさせていただきます。パソコン操作、ソフトのインストール、無線機の機能に関する知識が必要ですが、弊社サービスセンターではパソコンの操作に関するサポートは一切いたしかねますのであらかじめご了承ください。

8 保守・参考

故障とお考えになる前に

「故障かな？」と思われたら、まず以下の「処置」をお読みください。
マイク類や電池類などが原因の不具合も有りますので、必ずアクセサリーも点検してください。設定の間違いなどはリセットをすると回復する場合がありますが、意図した設定まで初期化されるので注意が必要です。

症状	原　因	処　置
電源を入れても、インジケーターがつかない。	バッテリーパックが接触不良を起こしている。	端子の汚れを清潔で乾いた布や綿棒で拭って取り除く。
	バッテリーが消耗している。	バッテリーを充電する。
スピーカーから音が出ない。受信できない。「ギャラギャラ」音が聞こえる。	音量が低すぎる。	適切な音量に設定する。
	「PTT」キーが押され、送信状態になっている。	「PTT」キーを離す。
	チャンネル、秘話コードやユーザーコード設定の間違いがある。	設定を合わせるか、これらの機能を使わない。プリセットモードを使う。
送信ができない。送信しても応答がない。	「PTT」キーが確実に押されていない。	「PTT」キーを押して、インジケーターを赤く点灯させてから送信する。
	チャンネル（周波数）や通信設定が間違っている。	相手局と通信可能なチャンネル・設定に正しく合わせる。
	別のユーザーがチャンネルを使用している。	信号がなくなるのを待ってから送信する。
	出力が低く、相手に届いていない。	出力設定を上げる。通話圏内に入る。高い場所に上る。
チャンネルが切替わらない。	キーロックが設定されている。	キーロックの設定を解除する。
キーによる操作ができない。	キーロックが設定されている。	キーロックの設定を解除する。
充電しない。	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを乾いた布でふき取る。
充電スタンドの赤色ランプが点滅する。	充電スタンドの保護回路が働いている。	電池単体で充電する。充電時、無線機の電源を切る。

■ 無線機の状態に異常があるとインジケーターや音声でエラーをお知らせします。点検･修理が必要になりますので、「アフターサービスについて」をご覧の上、販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。

■ 自動車やバイクなど比較的速い速度で移動する局との通信やアンテナが揺れるような状態で使用すると通話が安定しないことがあります。これは電波伝搬上の理由によるもので異常ではありません。

■ 採用している防水パッキンなどの部品には寿命があります。
耐塵防水性能の保証期間は同梱の保証書と同じです。
外郭保護性能のメンテナンスに関するアフターサービスが必要な場合は、お買上げの販売店または弊社にお問い合わせください。
最寄りの販売店の検索には、https://www.alinco.co.jp の「販売店のご案内」リンクをご利用ください。

■ 静電気が溜まりやすい場所や服装でイヤホンやイヤホンマイクを装着するとき、耳に静電気ショックを感じることがあります。ドアノブなどに触れて感じることがあるショックと同じで、漏電のような異常ではありません。

■ 磁気カード類を無線機に近づけないでください。
電磁波の影響でデータが消去される可能性があります。
補償いたしかねますので、ご注意ください。

メンテナンス

定期的に清掃とメンテナンスをすると長く衛生的にお使いになれます。

■ ボディとアンテナ
パソコンやデジタルカメラなどの精密機器の清掃器具は無線機にもお使いになれます。ブラシやブロアーでホコリを払い､除菌用ウエットティッシュ（湿りすぎていたら絞る）で手垢や汚れをふき取り、乾いた布で乾拭きしてください。電池端子部分はきれいな綿棒でぬぐいます。

■ 外部マイク類
ケーブルは汗や脂で劣化しやすくなります。湿った布やウエットティッシュで汚れを落として乾燥させます。イヤホンパッドやマイクスポンジは定期的に新品と交換してください。

安定して通話できる一番遠い場所を探して決めておき、定期的に通話チェックすると不具合や劣化に気付きやすくなります。リチウムイオン電池は３年、長くても５年をめどにお買い換えください。古い Li-Ion バッテリーは使用時間が短くなり、内部ショートによる発熱、発火のリスクが高くなります。

アフターサービスについて

■保証書

保証書は購入店名、購入日の記入（または専用ステッカー貼付けなど）と、記載の製造番号をお確かめの上、本書と一緒に大切に保管してください。記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類を一緒に保存してください。購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。

■保証期間

同梱の保証書に記載されている期間です。
正常な使用状態で上記の期間中に万一の故障が生じた場合は、お手数ですが製品に有効な保証書を添えて、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。保証書の規定にしたがって無償修理いたします。

■保証期間が過ぎたら

お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有償で修理いたします。
アフターサービスや製品に関するよくあるご質問は「アルインコ　電子FAQ」をキーワードにネット検索してください。
ご不明な点がありましたら、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。

■製造終了製品に対する保守年限に関して

弊社では製造終了後も下記の期間、製品をお使いいただけるように最低限必要な補修用部品を常備しています。ただし不測・不可抗力の事態により在庫部品に異常が発生したような場合はアフターサービスをご提供できなくなることもありますので、あらかじめご了承ください。

補修部品の保有期間は、生産終了後 5 年です。

■注意事項

- 改造、分解されたり銘板やラベル類が剥がされた製品は、修理をお断りします。銘板やラベルの再発行はできません。
- 修理見積や保険用の証明書類の発行は、一部有償です。

9 オプション一覧

型番	品名
EBP-98	リチウムイオン充電池パック（7.2V 2200mAh）
EBP-99	リチウムイオン充電池パック（7.2V 3200mAh）
EDC-194A	接続用シガーケーブル
EDC-214R	シングル充電スタンド（連結仕様）
EDC-215	AC アダプター（1 台充電用）
EDC-188	AC アダプター（連結充電用）
EDC-295	EME-80/81 用充電スタンド（1 台用）
EDC-296	EME-80/81 用充電スタンド（10 台用）
EDC-308R	EMS-87B 用充電スタンド（ 1 台用）
EDC-300	AC アダプター（USB）
EMS-62	IP54 相当スピーカーマイク
EMS-71	IP67 相当防水スピーカーマイク（イヤホンジャック無し）
EME-32A	カナル型イヤホンマイク (PTT ロック付）
EME-48A	耳かけ型イヤホンマイク (PTT ロック付）
EME-62A	咽喉マイク
EME-63A	ヘルメット用ヘッドセット
EME-64A	ヘッドセット
EME-67B	耳かけ型イヤホン
EME-80BMA	Bluetooth 対応イヤホンマイク
EME-81BMA	Bluetooth 対応イヤホンマイク
EMS-87B	Bluetooth 対応、IP67 対応スピーカーマイク
EDH-41	防水仕様 乾電池ケース
EDH-43	外部電源端子アダプター (12V,24V）
EA-248	ロングアンテナ
EA-247	ミドルアンテナ
EBC-46	ベルトクリップ
EBC-47	ステンレスベルトクリップ
EBC-56	ショルダーベルトフック
EDS-14	2 ピン型マイクプラグ変換ケーブル
ERW-7	パソコン接続用ケーブル (EDS-14 も必要です）
ERW-23	パソコン接続用ケーブル (4 極）
UX1647	充電用 USB ケーブル

【ご注意】

- スピーカーマイクでは VOX 機能、PTT ホールド、ハンド以外の接客モードは使えません。ヘルメット用ヘッドセットはバイク用及び特殊形状のヘルメットには使えません。EDS-14 の 2 ピンプラグ連結部分は防水ではありません。
- 上記以外にも使用できるオプションのマイク類がありますが、レジャーやホビーユーザー向けの消耗品です。
  業務でお使いのときは、必ず上記の業務仕様をお求めください。頑丈なうえ、故障しても修理ができます。

■ EBP-98、EBP-99 は無線機に正しく装着された場合にだけ耐塵防水保護が機能します。故障の原因に直結するので、単独の状態では絶対に水に濡らさないでください。

10 定格

■一般仕様

項目	仕様
送信周波数	351.20000 ～ 351.38125MHz　30ch
受信周波数	351.16875 ～ 351.38125MHz 30ch+5ch（上空用チャンネル S1 ～ S5）
電波型式	F1C F1D F1E F1F
アンテナインピーダンス	50 Ω
定格電圧	7.2V
消費電流	2.0A 以下（送信時：5W) 1.2A 以下（送信時：2W) 0.9A 以下（送信時：1W) 500mA 以下（受信時) 150mA 以下（待受時：Bluetooth　オン）
外形寸法（突起物除く） W × H × D	55.8 × 95.8 × 27.8mm EBP-98 装着時
質量 （ミドルアンテナ装着時）	約 218g（EBP-98 装着時）
使用温度範囲	-20℃～ +60℃
送信出力	5W/2W/1W（偏差：+20%、-50%）
変調方式	4 値 FSK
受信感度	-5dBuVEMF 以下 (BER1 × 10^{-2})
低周波出力（最大時）	300mW 以上

■参考

項目		
長さ	ミドルアンテナ　100mm ロングアンテナ　220mm	
充電時間 EBP-98(2200mAh) 装着時 EBP-99(3200mAh) 装着時	 約 3 時間 約 4 時間	
運用時間（*1）Bluetooth　オン EBP-98(2200mAh) 装着時 EBP-99(3200mAh) 装着時	バッテリーセーブ有効時 約 14.5 時間 約 20.5 時間	バッテリーセーブ無効時 約 10.5 時間 約 15.5 時間

（*1）送信出力 5W 時、送信 5、受信 5、待受 90 の繰り返し。

■プリセット内訳

プリセット No.	チャンネル	通信方法	ユーザーコード / 秘話コード	VOX 機能
1	CH4	ユーザーコード	176	無
2	CH22	ユーザーコード	006	無
3	CH9	ユーザーコード	259	無
4	CH18	ユーザーコード	419	無
5	CH21	ユーザーコード	502	無
6	CH1	ユーザーコード	385	無
7	CH23	ユーザーコード	008	無
8	CH14	ユーザーコード	217	無
9	CH6	ユーザーコード	505	無
10	CH2	ユーザーコード	152	無
11	CH30	ユーザーコード	003	無
12	CH10	ユーザーコード	325	無
13	CH26	ユーザーコード	196	無
14	CH12	秘話	29514	無
15	CH16	秘話	17537	無
16	CH25	秘話	25831	無
17	CH7	秘話	08414	無
18	CH13	秘話	13963	無
19	CH8	ユーザーコード	038	送信開始時 PTT キー
20	CH19	ユーザーコード	310	送信開始時 PTT キー
21	CH28	秘話	19967	送信開始時 PTT キー
22	CH3	ユーザーコード	106	送信終了時 PTT キー
23	CH17	ユーザーコード	493	送信終了時 PTT キー
24	CH20	秘話	20244	送信終了時 PTT キー
25	CH14	ユーザーコード	011	通常 VOX 動作
26	CH5	ユーザーコード	363	通常 VOX 動作
27	CH27	ユーザーコード	294	通常 VOX 動作
28	CH11	ユーザーコード	453	通常 VOX 動作
29	CH24	秘話	17723	通常 VOX 動作
30	CH29	秘話	28843	通常 VOX 動作

■仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
■本書の説明用イラストは、実物とは状態や形状が異なる、一部の表示を省略しているなどの場合があります。
■本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
■乱丁・落丁はお取り替えいたします。

ALINCO アルインコ株式会社 電子事業部

東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目10番19号サンエイビル4階 TEL.052-212-0541
大阪支店 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号 エコービル2階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120 0120- 464 -007

全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間／ 10:00 ～ 17:00 月曜～金曜（祝祭日及び 12:00 ～ 13:00 は除きます）
ホームページ https://www.alinco.co.jp/「電子事業」をご覧ください。
本製品の機種名は DJ-DPX2 です。製造番号や CSM 番号はバッテリーパックを外すとご覧になれます。

PS0970
FNEM-NM